

＜日商簿記1級工業簿記ミニテスト14＞配合差異と歩留差異

CMC製作所では、カフェオーレを大量生産している。次の資料に基づいてコーヒーとミルクの数量差異と価格差異を計算し、詳細分析として配合差異と歩留差異を算出なさい。なお、不利差異の場合は（U）有利差異の場合は（F）を記しなさい。

[資料]

1. カフェオーレを8,000㍻製造するための必要な原料は下記の通りである

	数量	標準価格	標準材料費
コーヒー	7,000㍻	@100	700,000
ミルク	3,000㍻	@200	600,000
投入量合計	10,000㍻		1,300,000
減損	2,000㍻		
完成品	8,000㍻		

当月の完成数量は80,000㍻であった。なお、仕掛品は月初・月末ともに存在しない。

2. 当月原料実際消費量

コーヒー @90円×80,000㍻
 ミルク @205円×30,000㍻

＜解答＞

	価格差異	数量差異	配合差異	歩留差異
コーヒー				
ミルク				